

群会議の話題

第480号

2025年6月9日発行
大田区西蒲田6-17-4
東京土建大田支部
TEL 3731-5527
FAX 3735-1537
ホームページ doken-ota.jp
メール info@doken-ota.jp
©6月1日組織人員
現在4,082人

今月のテーマ

春の目標達成で1月人員回復

脱退防止に努めて現勢維持を

5月末日で2ヵ月間にわたる春の拡大月間が終了しました。

前年1月比でマイナス100人の4041人から始まった2025年ですが、その後も3月まで前月比0.4%ずつ減少してしまいました。

しかし、春一番拡大で組織増加に弾みをつけ、①全分会が目標達成、②支部人員4千人の維持、を掲げて春の拡大月間に突入しました。

その結果、支部目標162人のところ181人加入と4年連続で達成しました。分会目標も3年連続で全分会が達成し、うち6分会が超過達成となりました。

これにより6月1日人員は4082人と1月現勢回復を成し遂げました。目標達成に向けて尽力いただいた皆さんに、あらためて敬意を表します。

* * *

こうして前半戦を乗り切りましたが、問題はこれからです。支部人員の増減の流れを見ると、7〜8月で減少し、9月からの秋の拡大月間で増加に転じて、11月に年間で最多人員を迎えています。つ

まり4千人を維持し、組織実増を実現するためには、谷間となる7〜8月で脱退者を極力抑えて、かつ新加入者をどれだけ獲得できるかが重要です。

脱退を防止するには、脱退を考えている組合員との対話が重要です。組合脱退の理由は何でしょうか？「組合にメリツトを感じない」のが理由なら、あらためて組合の魅力の説明を試みましょう。

「組合費・国保料が高い」という声には組合の制度利用による経費削減など、トータルな費用を検討してもらいましょう。また業界の情報収集や、組合のつながりによる仕事確保など、仕事に直結するメリツトもあります。こうした組合の魅力を知らずに脱退するのは、脱退者にとっても、もったいない話です。

もちろん全て上手くいくわけではありませんが、一人でも脱退防止につながれば大成功です。小さな取り組みに見えても、支部全体で見れば大きな力になります。仲間との対話を進めて組織を維持し、秋の拡大月間での組織増勢につなげていきましょう。

どけんカレンダー

(2025年6月8日〜7月19日)

日	月	火	水	木	金	土
8	9	10	11	12	13	14
住宅デー	6月			分会執行委員会		
15	16	17	18	19	20	21
	群会議			分会集約会議		
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
		7月				
6	7	8	9	10	11	12
						分会執行委員会
13	14	15	16	17	18	19
						分会集約会議

◆当面の予定◆

★無料法律相談(予約制)
日時 6月17日(火)午後2時
7月2日(水)午前10時
受付 支部会館2階

★税務相談会(予約制)
日時 6月24日(火)午前10時
受付 支部会館2階

☆建築士相談会(随時)
設計・施工のお悩みは
支部設計者の会まで
お問い合わせ下さい

※分会・群の会議日程は
地域ごとに違いますので
必ず確認してください。

白抜きの日は業務休止

ハガキ要請は補助金確保の大きな力 家族ぐるみの参加で多くの声を届けよう！

今年度もハガキ要請行動の時期がきました。土建国保は、加入者の保険料と国・都等からの補助金で運営されています。25年度は、

土建国保の予算に占める各団体からの補助金率は約40%となっており、補助金が無くなると保険料の大幅な引上げを行わなくてはなりません。また、土建国保は公営国保と違って法律的な位置づけが弱いいため、毎年繰り返し声を上げ続

けないと、いつ補助金を削られてもおかしくありません。

ハガキ要請は、仲間一人ひとりが、そして家族一人ひとりが参加できる「全員でできる運動」「家族ぐるみの運動」として、国保組合設立と同時に始まった50年以上続いている東京土建を代表する運動です。

補助金の現行水準確保に向けて、後押しとなるハガキ要請行動に取

り組みましょう。仲間が取り組み、

要請をしたハガキは、要請先の各職員が目を通し、予算確保に向けて大きな後ろ盾になっています。

第一弾は、厚労省への要請です。今月の群会議での記入・提出にご協力下さい。

◎記入上の注意点

要請ハガキを記入する際は、左記の点に注意して下さい。

①職種を具体的に記入する

東京土建は、建設産業で働く仲間組織している組合です。職種は誰が見ても「建設業」とわかるように、具体的な表現で記入して下さい。例えば、事務員という記入ですと、何の業種なのか不明です。建設会社の事務員など具体的な表現で記入をお願いします。組合員の家族の方が記入する場合は、「私の夫は・・・」「私の息子は・・・」の書き出しで記入して下さい。

②自分の住所・氏名を記入する

自分の住所・氏名を必ず記入して下さい。住所・氏名の修正や書き換えは認められないので注意して下さい。

◎带状疱疹ワクチン補助制度◎

支部互助制度で、带状疱疹ワクチン接種費用の補助をしています。

組合員が带状疱疹ワクチンを接種した場合、1回5千円を上限に実費補助します（2回法で接種した場合は2回分補助）。ワクチン接種対象者が50歳以上の為、50歳以上の組合員を対象としています。申請書と带状疱疹ワクチン代の領収書の写しをセットで申請してください。

◎東京建築カレッジ

オープンキャンパス◎

後継者の育成と技術の向上を目的として設立された東京建築カレッジは、高い技能を身に着けることができる学校で、これまで多くの技能者を育てあげています。26年4月入学者向けの授業一日体験を6月15日・8月24日・12月7日に開催します。

【会場】東京建築カレッジ

江東実習場

【時間】11時～17時

【参加費】 無料

申込は東京建築カレッジホームページの申込フォームより。定員は各回10人（見学者を除く）先着順です。

◎建設キャリアアップシステム◎

建設キャリアアップシステム（CUS）は技能者の資格取得、現場の就業履歴、事業者の施工力を建設業界の中で横断的に登録・蓄積するしくみです。支部はCUSの認定登録機関となっているため支部窓口でも登録が可能です（事前予約制）。

◎厚生年金算定のお知らせ◎

今年も、厚生年金の算定の時期となりました。対象事業所には、今月初めにかけて案内書類を郵送しています。年金事務所から郵送される書類と合わせて確認をして下さい。厚生年金の算定手続きを行わない場合、来年度の土建国保の資格確認証（または資格情報のお知らせ）が発行されないため、必ず手続きをお願いします。